

令和4年7月調査 賃金実態調査報告書

宇城久区域商工会議所・商工会広域連携協議会

宇城久地域ビジネスサポートセンター

(宇治商工会議所・城陽商工会議所・久御山町商工会)

調査の実施要領

1. 調査の目的

宇治市・城陽市・久御山町内に所在する企業の賃金等の実態を把握することにより、労働環境の整備や雇用の確保、労使関係の改善など今後の企業経営の参考に供することを目的に実施した。

2. 調査対象および調査方法

「経営経済動向調査」の付帯調査として、宇治・城陽・久御山区域内に事業所（本店、支店、営業所等）を有する企業1000社に対して郵送による調査を行った。

3. 調査時点および調査時期

- 1) 調査時点：令和4年7月
- 2) 調査時期：①令和3年1月～令和3年12月の年間賃金
②令和3年12月に支払った賃金
③令和3年12月に支払ったパート等の時給

4. 調査の内容

- 1) 社員の賃金（役員、専従者等の家族従業員、パート・アルバイトを除く）
職種、性別、年齢、学歴、勤続年数、年間賃金、基本給および諸手当について
- 2) パート・アルバイトの賃金
職種、性別、年齢、勤続年数、時給について

5. 集計区分

業種別（8分類）、従業員規模別（4階層）、学歴別（4階層）に区分した。

6. 集計方法

全ての算出方法を単純平均とした。

7. 回答状況

有効回答企業 259社（回答率25.9%）であった。

1. 従業員所定内賃金等

①業種別平均賃金

〔表 1-1〕業種別平均賃金

区 分		集計 事務所数	集計 人数	平均 年齢	平均 勤続年数	令和3年12月の所定内賃金		年間賃金
						基本給	諸手当	
全業種 平均	男子	234 社	1,324 人	45 歳	12 年	281,514 円	48,600 円	4,573 千円
	女子		459	43	10	217,240	31,942	3,319
製造業	男子	118	884	44	13	276,991	45,253	4,598
	女子		261	43	10	205,505	30,407	3,299
卸売業	男子	14	63	44	14	264,827	68,002	4,689
	女子		24	43	10	222,137	33,464	3,509
小売業	男子	22	65	43	12	225,629	64,020	3,764
	女子		35	42	13	210,105	38,268	2,842
飲食業	男子	10	24	42	9	248,452	53,667	3,596
	女子		18	52	17	227,333	42,143	3,388
運輸・ 通信業	男子	5	29	53	15	300,978	41,387	4,608
	女子		6	51	14	278,900	27,425	3,649
建設・ 不動産業	男子	30	122	49	14	309,608	46,333	4,850
	女子		34	48	11	246,346	35,857	3,952
サービ ス業	男子	17	81	44	12	251,499	64,219	4,528
	女子		47	38	8	211,562	32,672	3,437
その他 の業種	男子	18	56	46	10	267,435	54,000	4,007
	女子		32	44	8	197,687	24,688	2,762

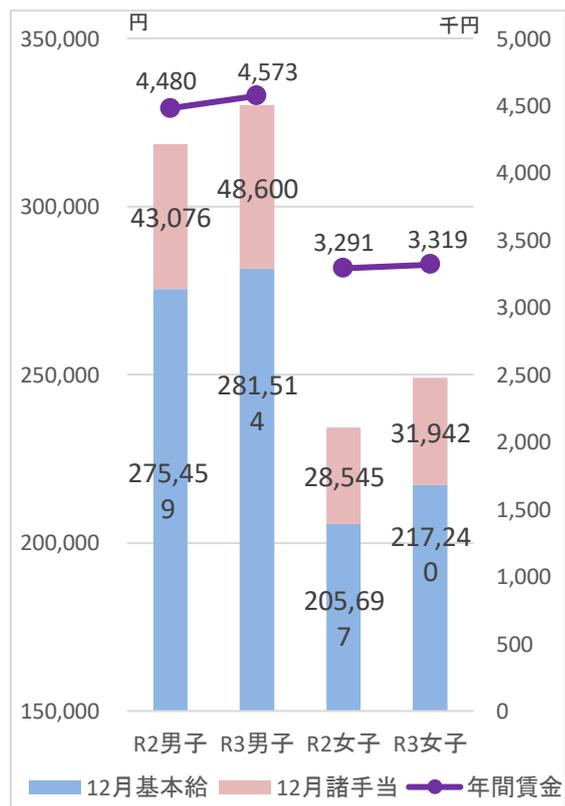
〔G1-1〕12月所定内賃金の対前年比較

令和3年12月に支払われた基本給は、全業種平均で男子281,514円（45才、勤続12年）、女子217,240円（43才、同10年）。諸手当については、業種平均で男子48,600円、女子31,942円であった。

また、令和3年1月～12月の間に支払われた年間賃金（所定外賃金・賞与含む）は、全業種平均で男子4,573千円、女子3,319千円となっている。

基本給をその他以外の業種別にみると、男子では建設・不動産業309,608円（49才、同14年）が最も高く、次いで、運輸・通信業300,978円（53才、同15年）、製造業276,991円（44才、同13年）の順で、女子については運輸・通信業の278,900円（51才、同14年）が最も高く、次いで、建設・不動産業の246,346円（48才、同11年）となっている。

前年と比較すると、男女とも基本給・諸手当の両方で増加しており、男子の年間賃金は3年連続で減少していたが、今年度は増加に転じ、女子は4年連続の増加となっている。



②規模別平均賃金

〔表 2-1〕 規模別平均賃金

区 分		事業 所数	全従業員 平均賃金		従業員 1～19 人		従業員 20～49 人		従業員 50～99 人		従業員 100人以上	
		社	人	円	人	円	人	円	人	円	人	円
全業種 平均	男子	234	1,324	330,114	510	341,278	487	317,589	156	344,802	118	333,460
	女子		459	249,182	157	244,803	159	241,277	69	259,254	54	279,361
製造業	男子	118	884	322,244	305	330,243	361	310,465	100	320,894	91	349,443
	女子		261	235,912	70	241,584	115	233,214	24	268,669	31	270,994
卸売業	男子	14	63	332,827	27	311,648	7	410,551	28	336,005	xx	xx
	女子		26	265,312	13	248,613	6	295,526	7	254,607	xx	xx
小売業	男子	22	55	289,649	37	273,990	6	300,973	11	352,258	10	276,800
	女子		26	248,373	16	173,155	xx	xx	9	305,150	10	294,210
飲食業	男子	10	24	302,119	6	273,000	8	338,458	xx	xx	7	279,500
	女子		18	269,476	4	297,500	2	196,500	xx	xx	3	272,667
運輸・ 通信業	男子	5	29	342,365	9	396,248	xx	xx	20	320,908	xx	xx
	女子		6	306,325	3	404,800	xx	xx	3	245,567	xx	xx
建設・ 不動産業	男子	30	122	355,940	71	342,252	49	375,259	xx	xx	xx	xx
	女子		34	282,203	21	273,961	12	290,636	xx	xx	xx	xx
サービ ス業	男子	17	81	315,718	26	317,435	30	313,050	15	338,431	10	280,944
	女子		47	244,234	6	187,195	20	246,193	11	220,979	10	289,993
その他 の業種	男子	18	56	321,436	20	381,313	26	286,442	6	233,500	xx	xx
	女子		32	222,375	13	256,058	4	243,400	14	193,714	xx	xx

(注1) 表示されている規模別平均賃金は所定内賃金（基本給に諸手当を加えたもの）。

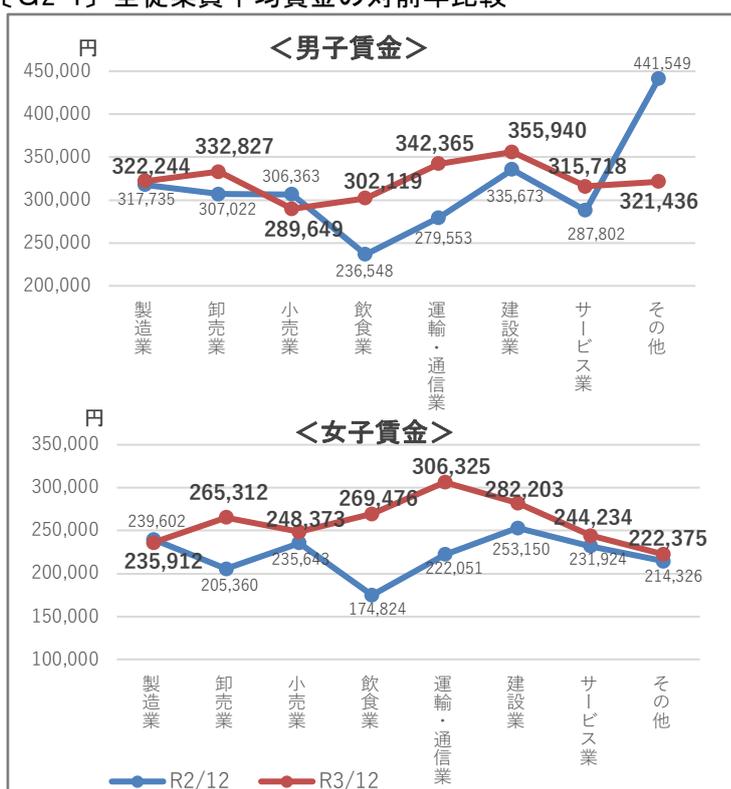
(注2) データが1名以下の区分については“××”を表示している。

(注3) 未回答は母数から省いた為、総数とは異なる。

〔G2-1〕 全従業員平均賃金の対前年比較

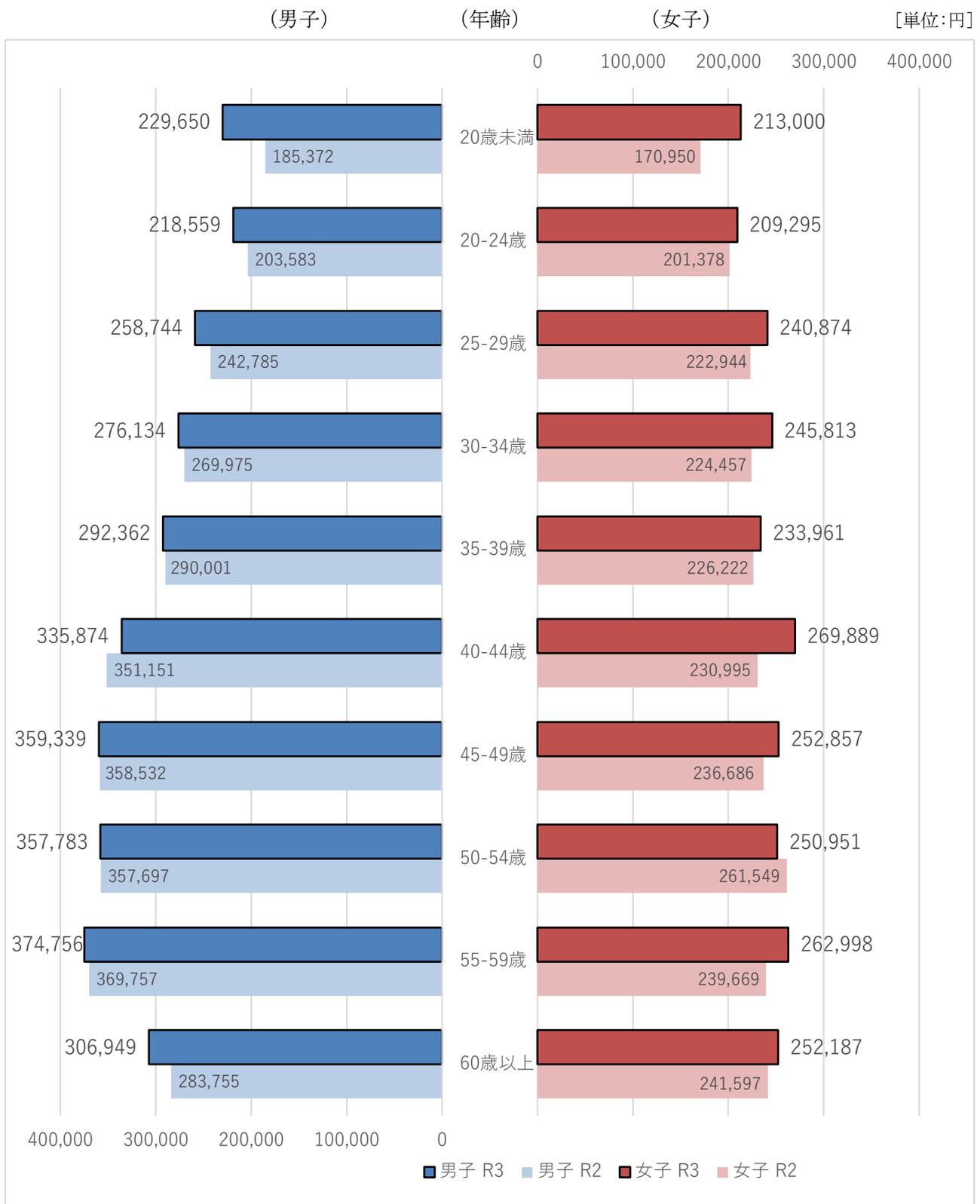
令和3年12月に支払われた所定内賃金（基本給に諸手当を加えたもの）の規模別平均賃金を業種別でみると“全従業員平均賃金”を“従業員1～19人”区分の賃金が上回ったのは、男子では製造業、運輸・通信業、サービス業、その他の4業種、女子は製造業、飲食業、運輸・通信業、その他の4業種である。“従業員20～49人”区分では、“全従業員平均賃金”を卸売業、建設・不動産業の2業種が男女ともに上回った。

一方、“従業員1～19人”区分を業種別にみると“全業種平均”の賃金を上回った業種は、男子では、運輸・通信業、建設・不動産業、その他の3業種。女子では、卸売業、飲食業、運輸・通信業、建設・不動産業、その他の5業種となっている。また、“全従業員平均賃金”の対前年比較では、男女とも飲食業と運輸・通信業で大きく増加した。



③年齢別平均賃金

〔G3-1〕年齢別平均賃金



(注) 表示されている年齢別平均賃金は、所定内賃金（基本給に諸手当を加えたもの）。

令和3年12月に支払われた所定内賃金を年齢別で見ると、男子はほぼ年齢に比例した平均賃金の増加がみられ年功序列で推移。女子では年齢別で波があり、若い世代より平均賃金が低い年齢もある。また前年データと比較すると、男子の40-44歳、女子の50-54歳以外は全て前年を上回る結果となった。

④学歴別平均賃金

〔表 4-1〕学歴別平均賃金（年齢区分別）

区 分		全学歴平均		高卒		短大・専門卒		大学・大学院卒		その他	
		人	円	人	円	人	円	人	円	人	円
20歳未満	男子	4	229,650	3	179,534	xx	xx	xx	xx	xx	xx
	女子	3	213,000	xx	xx	2	185,000	xx	xx	xx	xx
20～29歳	男子	146	262,642	65	284,796	16	258,940	49	246,043	7	212,870
	女子	76	230,910	25	234,715	26	227,176	23	228,256	2	236,500
30～39歳	男子	288	285,195	108	284,763	42	274,925	120	293,134	9	274,808
	女子	88	239,423	26	229,054	18	216,644	39	264,136	4	169,175
40～49歳	男子	405	348,963	172	337,130	78	326,823	109	391,086	20	355,243
	女子	138	360,464	54	273,508	50	246,168	25	259,949	2	262,950
50～59歳	男子	338	365,096	191	349,774	43	373,337	70	400,132	20	360,959
	女子	103	256,340	59	250,430	29	266,361	10	261,013	2	230,750
60歳以上	男子	134	306,949	64	306,544	10	299,728	43	300,415	9	343,489
	女子	48	242,188	25	244,360	16	262,985	3	246,800	xx	xx

（注1）表示されている学歴別平均賃金は、所定内賃金（基本給に諸手当を加えたもの）。

（注2）データが1名以下の区分については“××”を表示している。

〔表 4-2〕学歴別平均賃金（勤続年数区分別）

区 分		全学歴平均		高卒		短大・専門卒		大学・大学院卒		その他	
		人	円	人	円	人	円	人	円	人	円
10年未満	男子	589	284,431	245	284,088	80	284,244	219	292,475	21	247,478
	女子	242	231,479	88	234,190	75	225,270	70	237,190	7	190,690
10～19年	男子	373	323,398	176	309,195	62	317,770	98	356,044	12	302,814
	女子	129	271,571	61	268,323	38	271,737	23	290,735	1	270,700
20～29年	男子	214	398,346	103	382,131	31	382,849	53	457,850	17	381,832
	女子	51	276,849	22	279,065	19	265,367	6	299,719	xx	xx
30～39年	男子	100	378,679	57	352,705	11	405,028	18	405,592	10	454,334
	女子	16	269,091	5	273,678	7	236,858	xx	xx	3	279,466
40年以上	男子	29	352,002	16	395,182	2	373,125	4	243,667	5	243,667
	女子	7	190,714	4	132,500	2	315,000	xx	xx	xx	xx

（注1）表示されている学歴別平均賃金は、所定内賃金（基本給に諸手当を加えたもの）。

（注2）データが1名以下の区分については“××”を表示している。

⑤職種別平均賃金

〔表 5-1〕 職種別平均賃金

区 分		集計 事務所数	集計 人数	平均 年齢	平均 勤続年数	令和 3 年 12 月の所定内賃金		年間賃金
						基本給	諸手当	
全業種 平均	男子	234 社	1,324 人	45 歳	13 年	281,584 円	48,524 円	4,574 千円
	女子		459	43	10	217,240	31,942	3,319
事務職	男子	-	137	49	16	306,098	57,707	5,180
	女子		221	45	11	226,709	27,210	3,492
営業職	男子	-	214	45	13	308,664	60,782	5,224
	女子		38	38	10	245,010	48,562	3,973
現場職	男子	-	966	44	13	271,964	44,719	4,345
	女子		198	42	9	200,893	32,945	2,999
管理職	男子	-	281	49	18	346,169	82,614	5,889
	女子		60	48	16	255,883	59,268	4,021

基本給を職種別にみると、男女ともに営業職が最も高く、男子 308,664 円（45 才、勤続 13 年）、女子 245,010 円（38 才、同 10 年）であり、諸手当が最も高い職種も営業職で、男子が 60,782 円、女子が 48,562 円となっている。

また、管理職をみると、平均年齢や平均勤続年数にあまり差がなくても、男女間での基本給・諸手当・年間賃金の全てで、大きな差があることがわかる。

⑥地域別平均賃金

〔表 6-1〕 地域別平均賃金

区 分		集計 事務所数	集計 人数	平均 年齢	平均 勤続年数	令和 3 年 12 月の所定内賃金		年間賃金
						基本給	諸手当	
全業種 平均	男子	234 社	1,324 人	45 歳	13 年	281,584 円	48,524 円	4,574 千円
	女子		459	43	10	217,240	31,942	3,319
宇治市	男子	103	546	46	14	296,071	50,174	4,591
	女子		234	43	11	221,600	30,779	3,240
城陽市	男子	70	409	43	12	262,364	50,140	4,556
	女子		151	44	10	205,616	34,438	3,331
久御山町	男子	61	369	46	13	281,971	44,301	4,568
	女子		74	43	10	228,197	30,112	3,534

基本給を地域別にみると、男子は宇治市が 296,071 円（46 才、勤続 14 年）と最も高く、女子は久御山市が 228,197 円（43 才、同 10 年）と最も高かった。また、諸手当をみると、男子では同じく宇治市が 50,174 円と最も高く、女子では城陽市が 34,438 円と最も高い結果となった。

年間賃金を地域別にみると、男子は宇治市が 4,591 千円と最も高く、女子は久御山町が 3,534 千円と最も高い結果となった。最も高い年間賃金と最も低い年間賃金の差は、男子で 35 千円、女子で 294 千円と、女子の年間賃金の地域差は男子より大きいものとなっている。

2. パート社員等時給額

①業種別パート社員等平均時給額

〔表 7-1〕業種別パート社員等平均時給額

区分	事業所数		パート数		平均時給額		対前年 時給額 伸び率	最高時給額				
	事業所数	社	パート数	人	R3	R2		R3				
全業種平均	142	社	625	人	1,030	円	1,010	円	1.98	%	-	円
製造業	72		322		1,040		1,023		1.66		3,500	
卸売業	6		45		981		963		1.87		1,394	
小売業	16		59		982		1,013		▲3.06		1,200	
飲食業	10		42		981		953		2.94		1,100	
運輸・通信業	3		15		1,051		945		11.22		1,200	
建設・不動産業	5		14		1,368		1,135		20.53		2,300	
サービス業	12		52		1,021		1,010		1.09		1,600	
その他の業種	18		76		1,019		1,055		▲3.41		1,850	

令和3年12月に支払われたパート社員等の平均時給額は、昨年から1.98%増加し全業種平均で1,030円となっている。

業種別に見ると、平均時給額は建設・不動産業の1,368円が最も高く、次いで、運輸・通信業が1,051円、製造業が1,040円、サービス業が1,021円、その他の業種が1,021円、小売業が982円、最も低いのは卸売業と飲食業で981円となっており、京都府の最低賃金937円を44円（注1）上回る高い水準となった。

また、業種別の対前年時給額伸び率をみると、建設・不動産業が+20.53%、次いで、運輸・通信業が+11.22%と大きな伸びを見せており、飲食業が+2.94%、卸売業が+1.87%、製造業が+1.66%、サービス業が+1.09の6業種が伸びている。

一方で、小売業▲3.06%、その他の業種▲3.41%と2業種が減少している。

②地域別パート社員等平均時給額

〔表 8-1〕地域別パート社員等平均時給額

区 分	事業所数		パート数		平均時給額		対前年 時給額 伸び率	最高時給額				
	事業所数	社	パート数	人	R3	R2		R3				
全業種平均	142	社	625	人	1,030	円	1,010	円	1.98	%	-	円
宇治市	62		312		1,025		1,000		2.50		3,500	
城陽市	46		212		1,008		1,017		▲0.88		2,000	
久御山町	34		101		1,090		1,028		6.03		2,470	

地域別でみると、久御山町の平均時給額が最も高く1,090円、次いで宇治市が1,025円となっており、最も低い城陽市でも1,008円と、昨年から3地域全てで1,000円を上回っている。

また、対前年の時給額伸び率では、久御山町が6.03%、宇治市が2.50%と大きく増加した結果となったが、城陽市をみると昨年同様に1,000円台を越えてはいるものの昨年より減少し、伸び率は▲0.88%となっている。